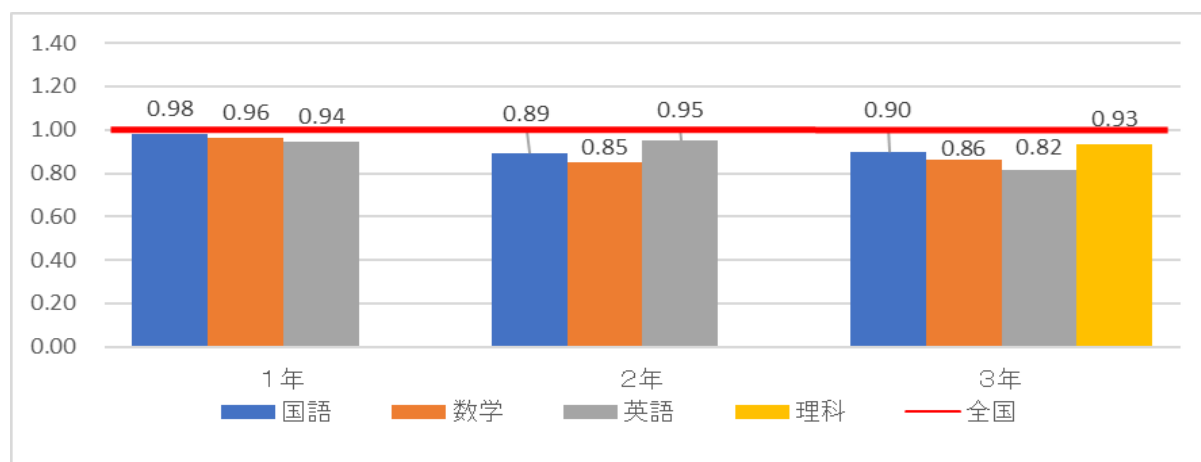


令和7年度 全国学力・学習状況調査及び寝屋川市学習到達度調査について 中木田中学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※中学1・2年生（国・数・英）及び中学3年生（英）は、寝屋川市学習到達度調査
中学3年生（国・数・理）は、全国学力・学習状況調査の結果

○調査結果についての分析、今後の改善方策

寝屋川市学習到達度調査	国語	「書くこと」や「説明的な文章の内容を読み取る」「文章を書く」では、全国平均を上回る結果であった。今後も、グループ学習やディベート等で、言語活動を大切にした学習活動を推進していく。
	数学	「数と計算」の領域や「少数・分数の計算」「関数の性質」「面積と体積」「単位量あたりの大きさ」では全国平均を上回る結果であった。今後も、説明・表現力を高める授業づくりを推進していく。
	英語	「アルファベットの読み・書き」や「語形・語法の知識理解」において全国平均を上回る結果であった。今後は、語彙力を高め、必要な情報を選別し、自分の考えを明確にしたアウトプットの指導を行っていく。
全国学力・学習状況調査	国語	「読むこと」「読むこと」において全国平均を上回る結果であった。今後も、内容をとらえ表現する等、言語活動を大切にした授業づくりを推進していく。
	数学	「数と式」「データの活用」領域では全国平均を上回り、「図形」領域でも全国平均と同等の結果であった。今後も、問題文の読解に取り組み、数学的用語を使用して説明する等、様々な問題に自ら取り組む力の育成を図っていく。
	理科	「粒子」「生命」の領域において全国平均を上回る結果であった。今後もモデルを用いて見えないものを考える指導を続け、科学的に考える力を育成する。
	質問紙	「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」「困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できるか」「道徳の授業で」等の質問の肯定的回答が、全国平均を上回っている。生徒の主体性を大切にし、支援体制を推進する中で、集団を大切し自己肯定感やコミュニケーション力についての成果が表れている。

○学力向上の取組

【中学校区】

中学校区3校での合同研修・授業交流を通して、めざす目標を共有し、「考える力」を身に付け、たくましく生き抜く子の育成を図るため、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりを推進している。各教科における小中一貫カリキュラムを踏まえ、小学校から中学校へつながる「家庭学習ノート」の取組や各学期における小学6年生の中学校登校日の設定、小6と中3のディベート交流など、小中一貫校として9年間を通した取組を推進している。

【学校】

「自ら学び 共に歩み 未来を拓く子ども」の育成をめざし、ねやがわスタンダードの授業プロセスを大切に、生徒が主体的な授業づくりを進め、生涯学び続ける力の育成に向けた取組を推進している。各学期における「きらきら☆スタディー」週間の設定や「家庭学習ノート」による自主学習の取組を「Grow Up 通信」を発行し保護者へ発信する等、学力向上の取組を推進している。